

高速道路を安全にご利用いただくためのお願い

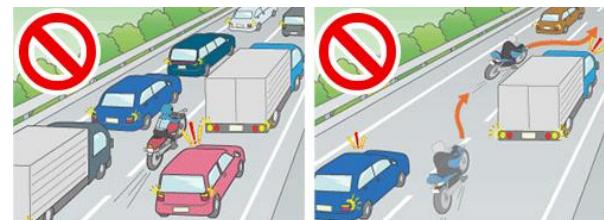
◆自動二輪車も四輪車も周囲の交通状況に十分注意を！

自動二輪車の事故を防ぐため、**自動二輪車のライダーのみならず四輪車のドライバーも相互に注意が必要です。**

● すり抜けや左側からの追越しは厳禁です！

渋滞中の**すり抜けや路肩走行、車両の左側からの追い越しは禁止**されています。

ご自身の身を守るためにも、交通ルールやマナーを守って安全に運転してください。



● 十分な車間距離・安全な速度で運転を！

自動二輪車の急ハンドルや急ブレーキは車両の転倒など重大事故に直結するおそれがあります。

運転技術や車両性能を過信することなく、周囲の交通状況に十分注意して運転してください。

● 疲れる前に早めの休憩を！

風雨が強いときなど悪天候の際は、**無理をせずサービスエリアやパーキングエリアで早めに休憩**してください。

● 車線変更時は後方の安全確認を！

四輪車の車線変更時、**自動二輪車が近づいていることに気付かず車両どうしが接触**することがあります。

自動車には見通しがきかない「死角」というものがあります。

車線変更する際は、後方の安全を十分確認してください。



1

高速道路を安全にご利用いただくためのお願い

NEXCO

◆シートベルト・チャイルドシートの着用を！

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が

車外に体を投げ出され甚大なダメージを受けて命を失うケースがあります。

● 全員全席シートベルトの着用を！

高速道路では後部座席を含め全席でシートベルトの着用が義務付けられています。

シートベルトはあなた自身やあなたの大切な人の**命を守るための命綱**です。

必ず全員全席シートベルトを着用してください。

知っていますか？
シートベルトの正しい使い方

- 1 腰ベルトは腹部ではなく腰骨にかかるように
- 2 肩ベルトは肩の中心位置になるように
- 3 ベルトはねじれのないように
- 4 バックルは「カチッ」の音を確認



● お子さまはチャイルドシートの使用を！

6歳未満のお子さまには、**体格と車に合ったチャイルドシート**を使用してください。

シートベルトに関するデータ

過去データでは、シートベルト**非着用者の致死率**は着用者の**約14倍**にも及びます（右図）。

また、警察庁とJAFによる調査では、高速道路における着用率は、運転席が99.5%なのに對し、後部座席同乗者は74.4%に留まっています（2017年シートベルト着用率データより）。

●高速道路等でのシートベルト着用・非着用致死率
(平成29年・警察庁資料による)



$$* \text{致死率} = \frac{\text{死者数}}{\text{死傷者数}} \times 100$$

2

◆ルールとマナーを守った安全運転を！

●無理をせず、ゆとりのある運転を！

走行中は、前方の異状に早めに気づき、落ち着いて回避できるよう、**十分な車間距離**をとって、**安全な速度**で運転してください。

特に、雨や雪などで路面の状況が悪い場合や、漫然な運転になりがちな深夜・早朝の時間帯には一層注意をしてください。

危険な運転者に追随されるなどした場合は、サービスエリアなど近くの安全な場所に待避するとともに、警察に110番で通報してください。

前の車に近づきすぎ？

あおり運転は大変危険です！十分な車間距離を取りましょう。



高速道路上には大小様々な車が走っています。特に大型車は、軽自動車・バイクなど小さな車に思いやりを！



車間距離が十分でないと、前の車が急ブレーキをかけることで追突事故につながる危険性があります。

センター線で車間距離がわかります

白線は8m、白線と白線の間は12mの等間隔となっています



●前方で思わぬ事態が発生している“かもしれない”運転を！

高速道路上では、渋滞、事故、故障や落下物など、思わぬ事態が発生している場合があります。運転中は、**道路情報板やハイウェイラジオなどの情報をチェック**するとともに、前方で思わぬ事態が発生している**“かもしれない”運転**を心がけてください。

●わき見運転、ながら運転は絶対禁止！

時速100kmで走行中の車両は、1秒間におよそ28m前に進みます。

考えごとや景色に気を取られての**「わき見運転」**や、運転しながらスマートフォンやカーナビなどを操作する**「ながら運転」**は大変危険ですので、絶対にやめてください。

高速道路を安全にご利用いただくためのお願い

◆渋滞末尾での追突事故にご注意を！

渋滞の中や渋滞末尾などでは、**追突事故が発生しやすい状況**になります。渋滞を発見した場合は、次の点に注意して走行してください。

① 後続車両への合図を！

後続車両の運転者が前方の渋滞に気づいているとは限りません。

ハザードランプの点灯や、**ポンピングブレーキ**などで後続車両へ合図してください。



② 急ブレーキ・急な車線変更は厳禁！

渋滞末尾での急ブレーキは、後続車両に追突されるおそれがあり**大変危険**です。

前後の車両との距離に注意し、緩やかに減速してください。

急な車線変更も追突・衝突事故の原因となりますのでやめてください。

また、渋滞により停止する場合も、前の車と十分な車間距離を取りましょう。

③ 路肩走行は厳禁！

緊急時の救急活動などの妨げとなりますので、**路肩の走行はやめてください。**

★事前の情報確認を！

走行中に道路情報板や工事関係車両のLED表示などで渋滞情報を入手した際は、前方に注意してください。

出発前や休憩時の渋滞情報収集には、WEBサービスの

iHighway（アイハイウェイ） 中日本もご活用ください。

